近畿地方

名前

問1　三重県の志摩半島に見られる複雑に入り組んだ海岸地形の名称と、その地域一帯に共通する気候の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. カルスト地形が見られ、夏季は南東からの季節風により乾燥する。
2. 砂丘が発達しており、冬季は北西からの季節風により雪が多い。
3. 干拓地が広がっており、一年を通じて降水量が非常に少ない。
4. リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。

問2　三重県南部の気候は、冬でも比較的温暖であるという特徴があります。この気候に大きな影響を与えている、太平洋を北上する海流の名称とその性質について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 高緯度側から流れてくる寒流である親潮（千島海流）の影響を受け、夏でも涼しい。
2. 低緯度側から流れてくる暖流である黒潮（日本海流）の影響を受け、気温が下がりにくい。
3. 日本海側を流れる暖流である対馬海流の影響を受け、一年を通じて湿潤である。
4. 大陸沿岸を流れる寒流であるリマン海流の影響を受け、冬に乾燥した冷たい風が吹く。

問3　江戸時代から明治時代にかけての、滋賀県における輸送手段の変化について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）

1. 明治時代初期に琵琶湖の全域を埋め立てる工事が行われたため、水上輸送から鉄道へと強制的に切り替えられた
2. 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した
3. 鉄道は旅客専用として整備されたため、物資の輸送については明治時代末期まで琵琶湖の船運が独占していた
4. 鉄道よりも北前船による日本海ルートの需要が高まったため、明治時代を通じて琵琶湖の利用者が増加し続けた

問4　日本の伝統的工芸品について述べた文章として、京都府の事例について正しく説明しているものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

1. 伝統的な技術を継承しつつ、現代の生活に合わせて大量生産を可能にした化学繊維の織物が、京都府の指定品目の主流となっている。
2. 石川県の能登地方を中心に、堅牢な下地塗りが特徴の輪島塗が制作され、日常的に使われる漆器として普及した。
3. 先染めの糸を用いて緻密な模様を織り上げる西陣織や、清水寺周辺で発展した陶磁器である清水焼などが受け継がれている。
4. 雪深い地域の気候を活かして麻を用いた小千谷縮が生産され、石川県では金沢市周辺を中心に九谷焼が発展した。

問5　明治時代の1896年（明治29年）9月、滋賀県において4日間で1000ミリを超える記録的な大雨が降りました。これにより、日本最大の面積を持つ湖の水位が大幅に上昇し、周辺の村々では全戸が浸水するなどの甚大な洪水被害が発生しました。この災害が起きた湖の名前として正しいものを答えなさい。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 中海
2. 琵琶湖
3. 霞ヶ浦
4. 浜名湖

問6　近畿地方に位置する滋賀県の県庁所在地であり、日本最大の湖である琵琶湖の南西岸に位置する都市の名前として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2015年 岡山県公立入試 類似）

1. 長浜市
2. 草津市
3. 彦根市
4. 大津市

問7　近畿地方に位置するある都市は、かつて武家政権である幕府が置かれていた歴史を持ち、現在では数多くの歴史的建造物が世界遺産に登録されています。この都市に当てはまるものを選びなさい。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. 日本で最初に幕府が置かれたが、世界遺産の登録名称に都市名は含まれない鎌倉市
2. 徳川御三家筆頭の城下町として発展したが、幕府そのものは置かれなかった名古屋市
3. 加賀藩の城下町として発展し、歴史的な街並みが残るが幕府は置かれなかった金沢市
4. 室町幕府が置かれ、金閣や銀閣などが世界遺産に登録されている京都市

問8　ある県の産業構造を示す統計において、就業者人口の構成比が第1次産業で約8.3%、第2次産業で約22.4%、第3次産業で約69.3%となっています。この県は、比較対象となる他の4つの地域の中で第1次産業の比率が最も高く、年間の漁獲量が約730トン、製造品出荷額が約7300億円にのぼります。このデータに該当する県はどこですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）

1. 鳥取県
2. 栃木県
3. 三重県
4. 東京都

問9　兵庫県たつの市における昭和48年から令和2年にかけての地域変化について述べた文として、地形図から読み取れる状況説明として正しいものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 山陽自動車道の龍野西インターチェンジが開通し、住宅地の面積が拡大するとともに、郵便局などの公共施設が設置された。
2. 交通網の衰退により、かつて存在した鉄道や新幹線の駅がすべて消滅し、人口が周辺の都市へと流出した。
3. 防災上の理由から、地域内の小学校がすべて元の位置から1km以上離れた標高の高い山頂へと移転した。
4. 大規模な減反政策の影響により、市街地であった場所のほとんどが水田へと作り替えられ、農村景観が復活した。

問10　大阪府の産業と人口の特徴について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。なお、大阪府の統計では、製造品出荷額が約17兆円と極めて高い一方で、農業産出額は約300億円と非常に少なく、昼間人口比率は104.4という数値を示しています。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 農業産出額が全国的に高いため、食料自給率が非常に高い産業構造である
2. 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている
3. 郊外への人口流出が激しいため、昼間人口比率が100を下回っている
4. 製造品出荷額が低いため、サービス業よりも農業に従事する人口が圧倒的に多い

問11　近畿地方の観光について、統計資料によると、奈良県の外国人宿泊者数は二千十三年の十六万五千人から、二千十八年には四十三万九千人へと変化しています。この五年間における外国人宿泊者数の推移と増加率に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. 宿泊者数は微増にとどまっており、二千十三年と比較した増加率は五十パーセント未満である。
2. 二千十三年と比較して宿泊者数は減少に転じており、観光産業が衰退していることを示している。
3. 五年間で宿泊者数は二倍を超えており、二千十三年を基準とした場合の増加率は百五十パーセントを上回っている。
4. 宿泊者数の実数は増加しているものの、増加率で見ると近畿地方の他府県と比較して最も低い水準にある。

問12　京都市が歴史的な街並みを維持するために実施している、建物の高さやデザインに対する厳しい規制の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 古い建物を一斉に解体し、近代的な商業都市へと作り変えるため
2. 高層マンションの建築を無制限に認め、人口密度を急増させるため
3. 伝統的な建築様式を排除し、すべてを新しいデザインに統一するため
4. 住民の生活を支えながら、歴史ある街の趣を次世代へ継承するため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 リアス海岸が見られ、夏季は季節風の影響で降水量が多い。	三重県の志摩半島は、起伏の多い山地が沈水してできたリアス海岸が発達していることで有名です。この地域は太平洋側の気候に分類されるため、夏は海からの湿った季節風が吹き込み、雨が多く降るという気象的特徴を持っています。入試では地名や地形、気候区分を関連付けて理解することが求められます。
問2	答え 2 低緯度側から流れてくる暖流である黒潮（日本海流）の影響を受け、気温が下がりにくい。	三重県は太平洋に面しており、その沖合には低緯度から暖かい海水を運ぶ暖流の黒潮（日本海流）が流れています。この暖流から供給される熱によって、沿岸部や南部を中心に冬季でも温暖な気候が保たれる要因となっています。
問3	答え 2 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した	滋賀県では古くから琵琶湖を利用した物資輸送が盛んでしたが、明治時代に入り、近代化政策の一環として東海道線などの鉄道が整備されると、交通体系が大きく変化しました。特に明治時代中期以降は、大津や長浜といった拠点が鉄道で結ばれたことにより、長年続いていた水上輸送から、より効率的な鉄道輸送へと物流の構造が転換しました。
問4	答え 3 先染めの糸を用いて緻密な模様を織り上げる西陣織や、清水寺周辺で発展した陶磁器である清水焼などが受け継がれている。	京都府には、平安京以来の長い歴史の中で培われた高度な技術を持つ伝統的工芸品が多く存在します。西陣織はあらかじめ糸を染めてから織る「先染め」という手法を用いた高級な紋織物です。また、清水焼は清水寺の参道付近に多くの窯元があったことからその名がついた陶磁器です。選択肢にある小千谷縮は新潟県、九谷焼や輪島塗は石川県の伝統的工芸品です。
問5	答え 2 琵琶湖	滋賀県に位置する琵琶湖は日本最大の湖であり、1896年の豪雨では湖の水位が通常より3メートル以上も上昇しました。この結果、湖沿いの下阪本村では全戸にあたる700戸が浸水するなど、記録的な洪水被害となりました。この大水害を契機として、後に水位調節のための瀬田川洗堰の建設や、淀川の本格的な改修工事が行われることになりました。
問6	答え 4 大津市	滋賀県の県庁所在地は、琵琶湖の南西端に位置する大津市です。大津市は古くから水上交通や陸上交通の要所として栄え、現在は隣接する京都市などのベッドタウンとしての性質も持っています。選択肢にある彦根市は琵琶湖東岸に位置する城下町、草津市は大津市の東側に隣接し近年人口増加が著しい都市です。
問7	答え 4 室町幕府が置かれ、金閣や銀閣などが世界遺産に登録されている京都市	京都は足利尊氏によって開かれた室町幕府の所在地であり、当時の文化を反映した鹿苑寺（金閣）や慈照寺（銀閣）などの建造物が「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されています。選択肢にある金沢や名古屋は有力な城下町ですが、幕府が置かれた都市ではありません。
問8	答え 3 三重県	三重県は中京工業地帯の一角を占め、四日市市の石油化学コンビナートなどに代表される第2次産業が盛んですが、同時に伊勢志摩地方を中心に真珠やカキの養殖、遠洋漁業などの拠点も多く、第1次産業が一定の存在感を示しています。選択肢のうち、栃木県は内陸県のため漁獲量で除外され、東京都は第1次産業の就業者比率が極めて低いため除外されます。また、鳥取県は製造品出荷額の規模がこの数値とは異なります。
問9	答え 1 山陽自動車道の龍野西インターチェンジが開通し、住宅地の面積が拡大するとともに、郵便局などの公共施設が設置された。	たつの市の約50年間の変遷を比較すると、山陽自動車道の整備や鉄道網の維持・充実を背景に、開発が進んだことがわかります。特に地形図の変化では、北西部のインターチェンジ設置や、南部の鉄道周辺、およびその間を結ぶエリアで住宅地が広がっている様子が顕著です。また、人口の増加や生活範囲の拡大に伴い、郵便局などの生活を支える公共施設も整備されています。なお、小学校の移転距離については地形図の縮尺（1:25,000）に基づき正確に測る必要がありますが、一般的に学校が山頂へ集団移転するといった極端な変化は、この地域の開発傾向とは一致しません。
問10	答え 2 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、兵庫県や奈良県などの周辺地域から多くの人々が仕事や通学のために流入します。そのため、昼間の人口を夜間の居住人口（常住人口）で割った「昼間人口比率」が100を超え、大都市圏の中心としての特徴が顕著に現れています。また、製造業が盛んで出荷額が高い一方で、都市化が進んでいるため農業産出額は極めて低いという都市型の産業構造を持っています。
問11	答え 3 五年間で宿泊者数は二倍を超えており、二千十三年を基準とした場合の増加率は百五十パーセントを上回っている。	奈良県の外国人宿泊者数は、五年間で約二・六六倍（四十三万九千÷十六万五千）に急増しています。これを増加率（（今年の数－基準年の数）÷基準年の数×百）で計算すると、約百六十六パーセントの増加となります。したがって、宿泊者数は二倍を超え、増加率も百五十パーセントを上回っているという記述が正確です。近畿地方では大阪府や京都府だけでなく、奈良県でもこうした高い増加率が記録されています。
問12	答え 4 住民の生活を支えながら、歴史ある街の趣を次世代へ継承するため	歴史的街並みの保存は、単に古い建物を残すことだけが目的ではなく、そこで暮らす人々の生活と歴史的な価値をいかに両立させるかが重要な課題となります。建物のデザインや高さに制限を設けることで、無秩序な近代化による景観の破壊を防ぎ、古都としての魅力を維持しながら住民が住み続けられる環境を整えています。